

県評しずおか

静岡県労働組合評議会

〒420-0851

静岡市葵区黒金町55番地

交通ビル3階

TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

Eメール kenpyo@mail.wbs.ne.jp

たたかう労働組合のバージョンアップで 職場・地域から声を上げ 平和で公正な社会つくろう

—静岡県評第75回定期大会開催—

静岡県評は9月17日（土）に第75回定期大会を静岡市の教育会館で開催しました。コロナ禍の中、昨年同様、オンライン併用で会場を沼津・静岡・浜松に分散した上で個々の参加も含め代議員66名の参加で実施し、2023年度大会方針や新役員を選出しました。

開会のあいさつで、菊池仁議長は、沖縄県知事選の結果にふれ「辺野古新基地建設反対を訴えた玉城デニー氏の勝利は、沖縄県民の民意を無視して新基地建設を強行してきた自公政権に、再びNOの鉄槌を下した」と語り、また「安倍氏の国葬実施を、国会の議論もなく閣議決定で決めたのは許しがたいことで国葬は、直ちに中止するべき」と訴えました。最後に、憲法につ

開会の挨拶をする菊池議長、静岡市教育会館



組織拡大・強化を 最重要課題に

松川事務局長が「22年度運動の総括と23年度のたたかひの方針」について提案しました。3つの要求

①すべての労働者のゆとりある生活と運動の確保へ
②長時間労働や格差是正で
ディーセント・ワークの確立を
③社会保障の充実でいのちを守る体制を

めざす」と4つのアプローチを基調にたたかい、「物価高騰とコロナ禍からこそ大幅な賃上げと底上げを、地域経済の好循環を目指し、最低賃金の引上げと全国一律最低賃金制度の実現」「リニア建設による大井川の水・残土の処理問題。浜岡原発再稼働反対の運動や医療体制の拡充を求める運動など繰り広げていく」と報告しました。

「国葬」が終わっても①根拠と基準を定めた法律が存在しないのに国葬を強行した事や、国葬の費用が本当はいくら掛かっ

岸田内閣による「国葬」強行に 抗議し安倍政治の弾劾を！

「国葬」は安倍元首相の葬送というより、安倍政治の礼賛とその継承の誓いを「国全体として」確認する場とされました。今回の「国葬」で「敬意」

9月27日岸田内閣は、多くの世論の反対の聲が上がる中で安倍元首相の「国葬」を強行しました。岸田首相は、弔辞で安倍首相の政治実績を賛辞し「日本と世界の行く末を示す羅針盤」とまで安倍元首相を持ち上げました。「国葬」は安倍元首相の葬送というより、安倍政治の礼賛とその継承の誓いを「国全体として」確認する場とされました。今回の「国葬」で「敬意」

た、安倍元首相だけを特別扱いする事は憲法14条の法の下平等違反であり、二重三重の違憲の取り組みでした。

たのかを明らかにする事などの問題は残されました。②「森友・加計・桜を見る会」などの国政私物化疑惑を「国葬」を

実施することややむやにする事なく安倍疑惑について説明も必要です。また、安倍元首相と統一教会の関係を説明しない限り自民党と統一教会の癒着の実相は説明できません。



国葬当日（9/27）にスタンディングで反対をアピールをする菊池議長：静岡駅地下道



大会に参加した代議員のみなさん、静岡市教育会

代議員からの発言

□全教静岡は、教員不足の問題を発言。「静岡市だけでも今25人も先生が足りていません。加えてコロナ感染や濃厚接触者のため先生が休んでいます。それなのに行政は何の手も打たないのです。困っている子どもや学校のために、先生を増やせと訴え、国の施策で教員定数の改善を、と迫っています。そのための教育全国署名に取り組みんでいます。ぜひご協力を」と訴えました。

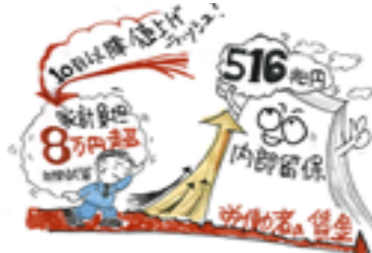
□ローカルユニオンは、以下の三点について発言がありました。「最賃闘争の対策チームの構成、活動計画

を明確にしてほしい。②労働相談体制の構築を急いでほしい。③予算では基金の取り崩しが続いているが、財政を確保するために、八割登録をお願いしたい」

□西部地区労連は、「今年結成30周年を迎え記念の集いを開催した。この間、組織拡大と若者の組合参加拡大を大きな柱として活動している。組織拡大を目指し、地区労連未加入組合へ署名用紙やニュースを持参しての訪問活動の実施や軟式野球大会やハイキング・みかん狩りなどのレクリエーションも開催している。役員の世代交代時期を迎え若手役員の積極的起用でさらなる活動の飛躍をめざし頑張っている」との発言がありました。

□静岡自治労連は、「憲法27自治体を訪問した取り組みについて、御前崎市長は「改憲は必要だ」と発言。その一方で、伊東市長は「憲法改正までは行き過ぎ」と答える首長もいました。今後も、平和憲法をいかしていく取り組みをすすめていきます」との発言がありました。

賃上げで 経済の好循環を！



—コマ漫画 toshiko

台風15号の 被害状況の 調査について

被害実態を
お知らせください

9月24日静岡県を通過した台風15号で被害にあわれた加盟組織組合員やご家族、地域の皆さんにお見舞いを申し上げます。

今回の台風は、静岡県では静岡市以西の地域で大きな被害が出ています。静岡市清水区では最大10日間も断水が続き、住宅の被害でも分かっているだけで床上浸水が1600軒以上、床下浸水は2700軒以上にもなっています。

すでに各組織では共済の給付をはじめ様々な互助活動が始まっており、医療連や建交労から報告が寄せられています。

県評としても、状況を把握したうえでどのような対応ができるのか考えたいと思います。

被災状況とあわせて、組合員から寄せられた声（困っている状況など）がありましたら、県評まで報告をお願いします。

23年度役員		常任幹事	
議長	菊池 仁	黒田 貴子	
副議長	望月 史彦	大石 信勝	
	深田 祐文	岡村 雄馬	
	塚原 一志	佐藤 芳弘	
	堀内 慶一	杉山 智昭	
	星川 千里	竹村 義人	
	積 哲也	富田 倫弘	
事務局長	松川 功	中村 富美子	
次長	上野 力	櫻井 友隆	
常任幹事	柿原 雅樹	増田 敦子	
	市村 直之	大庭 光治	
	浦田 浩幸	森 栄司	
		笹ヶ瀬 浩人	
		女性部	
		会計幹事	

職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No. 97

アマゾンの下請けの配達運送会社に労働者が、配達運転手さん達が長時間労働を告発して、所属会社だけでなくアマゾンを含めて団体交渉を目指しています。訴えによると、アマゾンでは週20時間までの残業を決めています。ところがアマゾンは労働時間管理を、アプリを通じて行っており、週20時間を越える労働者に他人のIDを使うよう指示し、実際の労働時間が過労死制限を超す事態になっているのです。アマゾンはネット通販を広げて莫大な利益をあげていますがその裏で、労働者を低賃金、長時間労働に追い込んでいます。大企業は、どんなに法的規制をしても、露骨に違法な手段で過労死状態を作り出しています。

11月は過労死等防止啓発月間です。厚生省が主催して過労死等防止対策推進シンポジウムが開かれます。今年は産業医やカウンセラーを招きメンタル不調で休職に至った労働者を如何に成功的に職場復帰させるかをテーマにしています。併せて過労死寸前に至った方の経験なども報告されます。シンポジウムも7回目です。過労死等を減らす実効性にはいささか疑

「過労死等防止対策推進シンポジウム」

日時： 11月1日（火）
13時30分～16時30分（受付13時～）

会場：静岡市民文化会館（大会議室）

講演①「職場におけるメンタルヘルス不調者の復職支援の取り組みについて」

講師：足立 留美子氏（産業医・労働衛生コンサルタント）

講演②「職場復帰支援の実践について」

講師：浅井 孝一郎氏（静岡障害者職業センター主任カウンセラー）



最賃改定をアピールする宣伝参加者
JR静岡駅北口地下道

最低賃金10月5日 時間額944円に改定 最賃キヤラバン全国一斉宣伝

静岡県の最低賃金が10月5日から時給944円になりました。静岡県評では、このことをみんなに知らせようと、各地域労連で一斉に最賃改定の宣伝活動を行いました。静岡地域では、10月1日の土曜日午前11時から12時に静岡駅北口地下通路で6人の参加で、チラシ入りティッシュを300配付しました。物価高騰が続く中で、944円では生活ができないと訴えると、土曜日で家族づれや若者も多いなか、横断

幕をじっくり見て通る人や受け取るとその場で開けてチラシを読む人もいて、関心があることがわかりました。最賃近傍の賃金で働く非正規労働者が増え続けています。今回の改定される最賃額では、月14万円程度にしかありません。誰でも人間らしく暮らせる賃金を求め、私たちは最賃を時給1500円以上に引き上げるよう要求して運動をしています。私たちが行なった25歳の独身者の最低生計費試算調査から導き出したものです。さらに私たちは、全国一律最低賃金制度の確立を求めています。日本全国どこでも、物の値段は同じです。全国各地で行なった最低生計費試算調査では、生活にかかる費用は同じでした。

女性の年金はなぜ低い？

静岡年金裁判第2回東京行動

9月15日（木）11時30分から東京高等裁判所で「静岡年金裁判」第2回口頭弁論が開かれました。



東京高等裁判所前で宣伝アピールする年金者組合

静岡から年金者組合員・県評・生健会等33名・弁護士・年金者組合中央本部・東京都本部など合計41名が参加しました。今回は、高島和子前女性部長が原告意見陳述を行いました。高島さんは、戦争によって苦しい生活体験等をした自分の生い立ちを述べ、国家公務員として「共働き」をして、職場の改善等に取り組み、42年間働いた結果が、他の女性より年金が少し多いが一人暮らしとなつて今後のことを考えると病気の不安が多いことや近所の女性が少ない



郵政ユニオン鈴木さん

静岡県労働研究所 No. 75

9月15日、「郵便局の労働実態とユニオンの取り組み」をテーマに、2名の方から報告がありました。郵政ユニオンの鈴木尚朋氏からは、労働法20条裁判で勝ち取った非正規労働者の待遇改善の成果を職場に生かすために、

郵便局の労働実態とユニオンの取り組み

9月15日、「郵便局の労働実態とユニオンの取り組み」をテーマに、2名の方から報告がありました。郵政ユニオンの鈴木尚朋氏からは、労働法20条裁判で勝ち取った非正規労働者の待遇改善の成果を職場に生かすために、団体交渉を進めてきました。が、会社からの提案は待遇改善に応じる反面、労働者を使い捨てにするようなひどい提案もされています。その一つが、有期契約で3年間働いた後は、無期契約にするが、評価が「C」の労働者は雇止めにするというものです。しかも、評価基準は会社に文句を言えば「C」評価にされてしまうという極めて恣意的なものです。この件に関しては弁護士とも相談して、今後の闘い方を検討中です。郵政ユニオンとしては、職場に蔓延するパワハラへの対策や、評価を不当に下げられ



ローカルユニオン河合さん

た労働者の救済に力を注いでいくということが報告されました。ローカルユニオン静岡の河合利夫氏からは、労働相談から組合加入した郵便局で働く短時間勤務社員の問題で数回の団体交渉を行ってきたことが報告されました。労災申請しても対応してもらえなかったことや、8時間勤務への希望を出し部長からは約束をもらっているにもかかわらず、何年

上映せまる 映画「時の行路」試写会

9月25日（日）静岡国労会館会議室にて映画「時の行路」の試写会を開催しました。試写会の前に中澤先生（静岡県立短期大学准教授）の「派遣社員」問題について講義があり、「2008年にリーマンショックを発端に派遣労働者との契約を打ち切る動きが活発となった。労働者派遣法は1986年13業務のみ認められたが、今ではほとんどの業種となっている。2015年には生涯派遣が可能になる改悪を政府が行い、派遣受け入れられる期間は3年だったのが人を入れ替えば3年を超えて派遣を利用することができるようになった。なぜ派遣

労働が増えたのか。コストが抑えられる、解雇しやすい、などが挙げられる。これに対し組合はどう戦うか、この映画を見てほしい」と話されました。

映画のあらすじは、リーマンショックで多くの派遣社員が雇止め（解雇）に。主人公の五味陽介（石黒賢）も雇止めとなる。会社の本音は、大量解雇で儲けを増やそうという狙いだった。労働者は諦めと怒りが交差し、理不尽な会社のやり方に五味たちが団結して立ち上がる過程や、そんなことは辞めて次の仕事を探したら、家族を含め周りの人は理解を示さない様子、それを乗り越え理解をもらおうドラマとなっています。労働運動の教科書にもなる映画です。

「派遣切り」に立ち向かう父と家族と仲間たちの物語

とき 11月5日（土）開場 上映30分前
上映 ①10:30 ②14:00 ③18:30
会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ
入場料 前売 大人1,200円・当日券1,400円
学生800円（大学生・専門学校生含む）
主催：映画「時の行路」静岡実行委員会



はたらくみんなの 元気の出る集会

日時：2022年11月6日（日）
13:30～15:45
会場：静岡労政会館3F
「ロッキーセンター大会議室」
講師：全労連事務局長
黒澤 幸一氏